

The Challengers ★ Basketball
1

「バスケット」
一関工業男子バスケットボール部
Shimazeki Kougyo

ウィンターカップ県予選で、一関工業が悲願の初優勝。攻守で死力を尽くした選手たちの意地が勝利を呼び寄せ、夏の高総体の雪辱を果たした。

延長戦制し初優勝

バスケットボールの第38回県高校選抜大会兼第70回全国高校選手権(ウィンターカップ)県予選最終日は10月29日、花巻市総合体育館で決勝戦が行われた。男子は一関工業が延長戦の末、盛岡市立を81-76の僅差で下し、初優勝の栄冠を手にした。

高総体の雪辱パネに

夏の高総体で逃した栄光を、選手たちは意地で引き寄せた。第4クォーターで追いつかれ、66-66のスコアで突入した延長戦。一進一退の展開が続いた。73-73の同点で迎えた残り1分。奥大和選手(2年)がドリブルで攻め込み、左

サイドから3点シュートを鮮やかに決めた。さらに千葉大和選手(3年)が得点を重ね、盛岡市立を突き放す。守りでは相手のエースを複数でマークするなど、必死にくりいついた。優勝常連校からもぎ取った執念の勝利に、観客は大いに沸いた。仲間から胴上げを受けた嶋田奎介主将(3年)は「高総体決勝で敗れた悔しさをバネにして練習してきた。涙が出るほどうれしい」と喜びを



かみしめた。後藤靖宏監督は「部員全員が頑張ってくれた。相手の長所を消せるようなディフェンスができた」と選手たちをたたえた。

全国の「高さ」攻略がカギ

全国大会は12月24日から、東京都渋谷区の東京体育館で行われる。初戦の相手は全国屈指の強豪、洛南(京都)。一関工業は「全員攻撃・全員守備」の態勢で臨む。後藤監督は「うちは出場校の中でも小柄なほう。背の高い選手への対策が必要」と課題を挙げる。立ちほだかる全国の壁に向かって、選手たちは体幹、持久力や走力の強化に取り組んでいる。(取材日・11月24日)

Interview

菅原成美主将
Sugawara Narumi
3年

挑戦者として 鍛えてきた1年間

昨年のウィンターカップに負けた日から目標を「日本一へのチャレンジャー」と決め、トレーニングに励んできました。全国では堅い守りと多彩な攻めで、一関学院らしい積極的なプレーをしたい。勝負どころで3点シュートを決めて、自分たちに流れを引き寄せたいです。

女子決勝 ▶ 10月29日
▶ 花巻市総合体育館

一関学院	盛岡白百合学園
22-14	23-12
90	43
26-11	19-6

●監督 山田繁 ●主将 菅原成美 ●部員 31人



1 徹底的にフットワークを鍛える / 2 シュート練習に励む選手 / 3 全員で声を出して気合を入れる / 4 毎日の食事をアプリで管理。不足している栄養素を専門家がアドバイスする

The Challengers ★ Basketball
2

「バスケット」
一関学院女子バスケットボール部
Shimazeki Gakuin

女子決勝は、攻守にわたって相手を圧倒した一関学院が圧巻の5連覇を達成した。高い目標を掲げて鍛えてきた王者が、日本一の座に挑む。

大差で5年連続の優勝飾る

男子と同日に行われたウィンターカップ県予選の女子決勝戦は、一関学院が90-43で盛岡白百合学園を下し、5年連続の優勝を飾った。

菅原成美主将(3年)の3点シュートや金野天音選手(3年)のプレーが光った。190センチのニアン・ディ・クンバ選手(3年)も高さを生かしてゴール下を支配するなど、攻

守にわたって終始、圧倒的な力を見せつけた。

守りと走力を鍛え全国へ

インターハイの初戦、守りの弱さから敗退した悔しさが、彼女たちをさらに強くした。選手たち自ら「日本一へのチャレンジャー」と目標を掲げ、毎日、ディフェンスとフットワークの強化に取り組んだ。日頃の地道な練習が、5連覇とい

う成果となつてあらわれた。

弱点を克服し、万全の態勢で臨む全国大会。初戦は龍谷富山(富山)と激突する。菅原主将は「目標はベスト16。常に挑戦者という気持ちを忘れずに、1試合1試合を大切に戦いたい」と力を込める。山田繁監督は「チームとしていい具合にまとまっている。メンタル面は相当強い」と太鼓判を押した。(取材日・11月21日)

Interview

嶋田奎介主将
Shimada Keisuke
3年

ディフェンスから 流れつくる

仲間への信頼感が積極的なプレーにつながっています。全国では得意のジャンプシュートを大事なところで決めたい。堅い守りから速攻を仕掛けるのが一関工業のバスケ。雰囲気にも飲まれず、自分たちのペースで試合をしたいです。ベスト8入りしてメインコートで試合をするのが夢です。

男子決勝 ▶ 10月29日
▶ 花巻市総合体育館

一関工業	盛岡市立
21-16	14-18
81	76
14-15	延長
	15-10

●監督 後藤靖宏 ●主将 嶋田奎介 ●部員 46人